

高橋みつお 通信

参議院議員

Vol.8

Greeting ごあいさつ

前略 本年上半期は、公明党国土交通部会長代理、参議院国土交通委員会理事として、国会質疑などを通じて現場のお声を国に届け、改善に向けた政策を前に進めることができました。ウクライナ支援、国際保健、学生支援などの諸課題も具体的な成果を得ることができました。

春の統一地方選挙では、かつてない厳しい情勢だったにもかかわらず、党员・支持者の皆様の絶大なる真心の御支援により大勝利することができました。心より御礼申し上げます。

六月の臨時党県本部大会において新しく兵庫県本部副代表の大仕事を拝ほじました。次なる戦いに向けていかにも厳しくとも勝利していくため、どこまでも「現場第一」で走り抜けてまいります。今後とも変わらぬ御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

草々

二〇二三年七月 参議院議員 高橋光男

Profile



公明党国際局次長、同兵庫県本部副代表、同兵庫県本部青年局長、同国土交通部会長代理。参議院国土交通委員会理事、同決算委員会委員、同外交・安全保障に関する調査会委員。防災士。

1977年、兵庫県宝塚市生まれ。阪神淡路大震災を経験。大阪外大(現大阪大)英語科在学中に外交官試験に合格し中退。外交官として、在ブラジル日本大使館一等書記官等歴任。ボルトガル語通訳官として首脳外交も担う。子育て世代、二児の父親。

2019年7月、第25回参議院通常選挙兵庫選挙区初当選。2021年3月、中央大学法学部卒業。(2023年7月現在)

座右の銘「建設は死闘、破壊は一瞬」



統一地方選の勝利に向けて応援演説(3/31 姫路にて)

最新情報を日々
発信しています!
ぜひご覧ください!



LINEの
友達追加は
こちら! →



YouTube「みっちゃんねる」
国会での活動や、皆様に知りたいこと。
たくさんお話ししています。ぜひご覧ください!

Bridge the Futureは「未来をつなぐ」という意味です。国と国、人と人に橋を架け、希望の未来をつなぐ。高橋の「橋=Bridge」と、みつおの「M」を組み合わせた決意を表したロゴです。

発行:公明党参議院兵庫選挙区第2総支部

〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16
甲南第1ビル 1102号室

TEL:078-367-6755 FAX:078-367-6756

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館 614号室

TEL:03-6550-0614 FAX:03-6551-0614

SDGsとは…

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、日本を含む国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げている。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2023年7月発行

Topics トピックス

統一地方選の大勝利に感謝!

TOPICS
01

4月に行われた統一地方選において、前半戦の兵庫県議選、神戸市議選ともに公明党候補の全員当選、完全勝利を果たすことができました。また、後半戦の市町選においても大勝利の結果となりました。有権者の皆さま、筆舌に尽くせぬ献身的なご支援をお寄せ下さった党員、支持者の皆さまに対し、心より感謝と御礼を申し上げます。



姫路駅前にて街頭に立つ(3/21)



支援者と共に(4/2 神戸市西区にて)



神戸三宮にて新春街頭(1/3)

次期衆院選の小選挙区予定候補

兵庫2区で赤羽かずよし氏
兵庫8区で中野ひろまさ氏を公認

兵庫2区

神戸市兵庫区、北区、長田区
西宮市塙瀬、山口支所管内

赤羽かずよし

TOPICS

03

1993年の衆院選で初当選。衆院当選9回。前国土交通大臣。65歳。国交大臣の時に駅や公共施設のバリアフリー化を強力に推進。特に、50年間進まなかった新幹線の車いす用フリースペースの拡充は、当事者団体から高く評価されている。一方、地元住民の生活課題の解決にも尽力。県道神戸三田線の渋滞解消へ有馬トンネル開通や、北神急行の市営化による料金値下げを実現。国道176号の4車線化にも全力を挙げている。



兵庫8区

尼崎市

中野ひろまさ

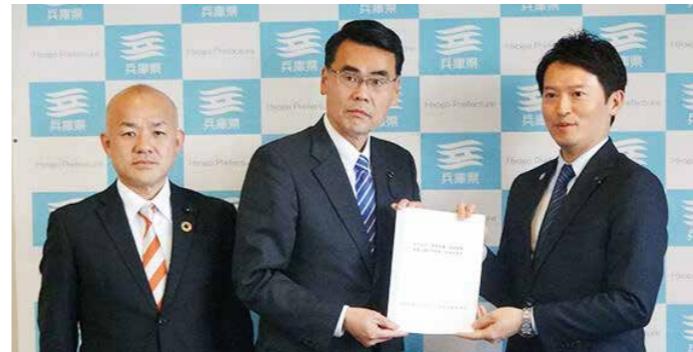


2012年の衆院選で初当選。衆院当選4回。元経済産業・内閣府・復興大臣政務官。45歳。党のエネルギー対策の責任者として、電気・ガス代が高騰し、家計を圧迫している現状を踏まえ、直接的な負担軽減対策を政府に訴え、実現。また、党の子育て政策をまとめる事務局長として、結婚・妊娠・出産から子どもが巣立つまでを一貫して支援する「子育て応援トータルプラン」の作成に尽力し、政府へ提言した。

兵庫県下の物価高騰対策が大きく前進!

TOPICS
02

物価高騰が生活を直撃する中、3月から4月にかけて兵庫県や神戸市などの各自治体における公明党議員団が首長に対して「エネルギー価格高騰・物価高騰対策に関する緊急要望」を行いました。その結果、例えば兵庫県では、6月補正予算でLPガス利用者への負担軽減策に約18億円が計上され、県独自のプレミアム付きデジタル商品券「はばタンPay+(ペイプラス)」も実現。いずれも8月から開始します。これからも公明党の地方議員と国会議員のネットワークの力でコロナ禍や物価高から国民生活を守ってまいります。



齋藤兵庫県知事に緊急要望(伊藤勝正県議、島山清史県議 3/20)

高橋みつおはSDGsを推進します!



平和と協働

16 幸福と公正を
実現するための
SDGs



| ウクライナ支援のさらなる強化を

未曾有の人道危機とも言えるウクライナへの支援は平和国家・日本の責務。特に戦後復興を遂げ、幾度の大災害にも屈せず復興を遂げた日本への期待は大きいです。

昨年4月の参院本会議では岸田総理に対し、日本が主導してウクライナ復興支援国会合を開催すべきと主張。また、本年に入り予算委員会(3/6)や決算委員会(4/24)では阪神淡路大震災や東日本大震災で培った創造的復興の経験を我が国として提供すべきと総理、外相に訴え、「日本側の幅広い関係者が連携した協力を進めたい」(総理)と答弁を得ました。日本が官民で力を合わせて貢献できるよう推進します。



参院予算委にてウクライナ支援等について岸田総理に質疑(3/6)

| ウクライナ周辺国への支援が大きく前進

周辺国への支援も重要です。国会ではかねてから求めてきたODA(政府開発援助)卒業国であるポーランドへ教育分野などの二国間協力の実施を要請(3/6)。総理からは、公明党提言を受けて新たに可能となるよう整理した旨答弁。例外的に実施ができるようになり、第一号案件として児童生徒の通学用バスの提供が行われました。

| 日本へのウクライナ避難民支援継続へ

国内のウクライナ避難民への支援も欠かせません。党対策本部として生活費等の支給延長などを官房長官に申し入れ(2/21)、実現しました。

これからもウクライナの人々に寄り添った人道支援を継続してまいります。



松野官房長官へ提言を申入れ(2/21)

コラム 1 命のヒマワリプロジェクト



中嶋先生を宮島大使に紹介(1/31)

阪神淡路大震災の復興のシンボル、そしてウクライナの国花である「ヒマワリ」。「神戸の子どもたちが心を込めて描いた命のヒマワリをウクライナの子どもたちに届けよう」神戸学院大学の中嶋洋子先生が推進する「命のヒマワリプロジェクト」の趣旨に賛同し、今年に

入り、宮島昭夫在ポーランド日本大使、ミレフスキ駐日ポーランド大使、そして摺河祐彦在神戸ポーランド名誉総領事(姫路女学院高校校長)へご協力を要請しました。5月には同校の生徒によって姉妹校であるワルシャワのナザレ校にヒマワリの絵が届けられました。同国にはいまなお30万人ものウクライナ避難民児童が現地の子どもたちと一緒に学んでいます。神戸、兵庫、そして日本の心を伝え、未来を担う子どもたちに生きる勇気と希望を届けるため、これからも応援してまいります。



ポーランド大使と面会(5/18)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 5つのPとは



人間



10
人間のまちをつくる
まちづくり

| 学生の声を国政に反映

今年に入って公明党学生局と大学生・高校生との懇談会「Qカレ」を重ねてきました。学生の皆様から頂いた声を受け、教育費軽減、留学支援、就職活動支援(通教生・院生)等を中心に、永岡文科大臣に対し重点政策提言を行い(2/21)、予算委員会でも取り上げました(3/9)。私も含め党を挙げての働きかけにより高等教育無償化が前進し、授業料減免と給付型奨学金については来年度から多子世帯と理工農系の学生の中間層(世帯年収約600万円)にまで拡大されることになりました。さらなる負担軽減に力を尽くします。



永岡文科大臣へ学生の代表と共に申し入れ(2/21)

| 薬剤耐性(AMR)対策を推進

薬剤耐性菌による感染症が世界で増加中です。有効な対策がないと2050年には年間1,000万人が死亡と推定されています。公明党国際保健推進委員会では開発企業からお話しを伺い(2/22)、伊佐厚労副大臣と武井外務副大臣に対して、全ての耐性型に効果を示す革新的な国産の新規抗菌薬の開発や生産体制支援、G7サミットでの議論主導等を要請(2/28、3/23)。私も予算委員会や決算委員会で取り上げました。結果として、G7広島サミットの首脳宣言では、薬の承認後の利益を保障する「プル型」を含め、新たな抗菌薬の研究開発を促す市場インセンティブを「探求し、実施する」との文言が初めて盛り込まれました。



伊佐厚労副大臣へ開発企業と共に申し入れ(2/28)

コラム 2 「高橋みつお未来フォーラム」を初開催

神戸にて「高橋みつお未来フォーラム」を初開催(2/10)。岡部芳彦・神戸学院大学教授より「日ウクライナ関係の今後と国際平和」と題してご講演いただきました。これまで全力で国会議員として仕事できてきたのは支援者の皆様のお力あればこそ。日頃からお世話になっている多くの関係者の皆様にお集まりいただき心から感謝致します。初心忘れず、現場の声に寄り添い、国・地方の公明党ネットワーク力で兵庫と日本の希望の未来を拓くための挑戦を続けて参ります。



高橋みつお未来フォーラム(2/10)

SDGsには「5つのP - People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership」という考え方があり、人間・地球・豊かさ・平和のための目標の実現を、国際社会のパートナーシップにより目指します。



豊かさ



11
自然を守る
まちづくり

| 神戸空港国際化、 神戸港CNPの取組を後押し

兵庫の観光促進にとってカギとなる神戸空港国際化。昨秋に続いて国会で取り上げ、空港施設変更への早期の大蔵許可と国の予算的・技術的支援を強く要請(3/9)。無事許可が下りました(3/17)。2025年大阪・関西万博時のチャーター便就航に向けて着実に推進していきます。

そして、グリーン・トランスフォーメーション(GX)を港湾において推進するのが、カーボンニュートラルポート(CNP)形成の取組です。神戸港では全国に先駆けて検討会を開催し、CNP形成計画を策定。この取組を後押しするため、神戸市や現場の事業者からの声をもとに国土交通委員会で質疑(3/9)。港湾ターミナルの脱炭素化に関する認証制度の構築や、水素受入施設などで連関する姫路港との間を結ぶ播磨臨海地域道路の早期整備を求めました。



参院国交委にて質疑(3/9)

| 空家対策特措法が改正 古民家の活用推進へ

急増する空家対策は喫緊の課題。今国会にて空家対策特措法が改正され、利活用と発生予防が強化されます。法案審議では、空き家発生予防に貢献している全国古民家再生協会からのご要望等を踏まえて、新設される「空家等管理活用支援法人」への国の支援強化を訴えました(6/6)。また、効果的な取組である「農地付き空き家」の取引促進も要請し、斎藤国交大臣からは、兵庫県宍粟市のような先進的取組を周知徹底し、積極的に支援していく旨答弁を得ました。



古民家再生協会の皆様と意見交換(3/21)



公明地方議員の皆様とともに、福元宍粟市長及び担当者と意見交換(5/2)